

児童 6年1組 男子16名 女子18名 計34名
 指導者 齋藤 光喜

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを明確に伝えよう

学習材名 中心学習材 平和のとりでを築く（光村図書6年）

補助学習材 「平和をつくる教育」（早乙女愛、足立力也著・光村図書6年）

「子どもたちのための戦争」（マリア＝オーセイミ 落合恵子訳・光村図書6年）

「ソマリアの海賊たち」、「世界の軍事費」

（そうだったのか！ニュース世界地図2009 池上彰著より抜粋・集英社）

「軍隊をもっていない国はありますか」

（世界の中の9条 歴史教育者協議会編より抜粋・汐文社）

※その他「平和に関する本」多数

2 児童と単元について

(1) 児童について

本学級の児童が、1学期、説明的文章「感情」「生き物はつながりの中に」の学習において学習した読みの方法は次の三つである。付けたい力「目的や意図に応じて要約する」（読むことウ）に関しては「具体の文と抽象の文に注目して読む」「事実の文と意見の文に注目して読む」という方法、付けたい力「筆者の主張と関連させて自分の考えを持つ力」（読むことウ）に関しては、「自分の経験、知識から考える」という方法である。言語活動としては要約・スピーチの型にあてはめ、スピーチするという活動を経験している。

5年生から行っている帰りの会の「今日のスピーチ」（新聞やニュース番組から得た情報を要約して自分の考えをもちながら話す活動）は、1学期の説明的文章の学習から、スピーチの型にあてはめ、内容を要約し自分のことに置き換えたりしながら話すことができる児童が増えた。その反面、スピーチの型に無理やりあてはめてしまったために文章構成や事例と自分の考えの整合性に無理が生じている児童もいるため、文章構成について再度確認をし、説明部分の妥当性について考えながら、事実と意見の書き分けについても考えさせていきたい。そして、筆者の主張に対する自分の感想を述べるだけでなく、自分なりの考えを主張できるようにさせたい。

読書については、多くの児童が読書習慣が身に付いており、物語や伝記（歴史人物）を好んで読んでいる。前単元の学習以降、新聞記事を読む児童も増えているため、ドキュメンタリーや説明的文章の本も読ませていきたい。そこで、本単元では前単元で学習した「文章と対話しながら読んで自分の考えをもち、スピーチ名人になろう」のさらなる定着をはかりながら説明的文章の読み方の理解を深めるとともに、筆者の主張と関連させてもった自分の考えを、自分の主張としてまとめ、発信する段階にまで高めることをねらっていきたい。

(2) 単元と学習材について

本単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを明確に伝えよう」では、学習指導要領・読むこと指導事項ウに関する「筆者の論の展開の書きぶりに対して自分の考えをもつ力」「筆者の主張と関連させて自分の考えをもつ力」、書くこと指導事項ウ「事実と意見を区別し、目的や意図に応じて書くこと」、書くこと指導事項エ「引用したり、図表やグラフなどから読み取ったことを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」の力を付けるために、平和についての意見文を書き、インターネットを通じて発信するという言語活動を行う。

中心学習材「平和のとりでを築く」は、筆者の書きぶりや説得力のある意見文を書くための要素について確かめるのに適した資料である。文章構成をおさえ、まとめの段落から要旨をとらえることができ、筆者が自らの主張に説得力をもたせるために、事例の段落では「急性白血病でなくなった一少女の日記」を、まとめの段落では「ユネスコ憲章前文の一部」を引用していること等も児童が意見文を書くための効果的な書き方を考える際に有効な資料となるであろう。

(3) 単元指導計画の工夫について

ア 付けたい力と読みの方法 【付けたい力】 ○読みの方法

【筆者の論の展開の書きぶりに対して自分の考えをもつ力】

- 文章構成について考える。
- 説明部分の妥当性について考える。
- 事実と意見の書き分け方について考える。

読みの方法1点目の「文章構成について考える」については、深める段階の第2時で扱う。1学期の学習で身に付けた力の定着をさらに図ることをねらったものである。文章を「始め、中、終わり」に分けたうえで、1学期に学習した要約の型に従い、要約することで文章の大体をとらえる。ここでは、具体例の記述については深入りせず、筆者が主張していることをとらえると同時に、それに対して、自分は共感できるかどうか、という視点から考えを書かせ、自分の考えを明確にしながらかく読むことの構えをつくとともに、読み手を共感させる説得力のある文章であることを確認する。

読みの方法2点目「説明部分の妥当性について考える」については、深める段階の第3時で扱う。筆者が自らの主張に説得力をもたせている具体例（根拠、事例）について、事実や時間の流れを中心に、的確に読み取らせる。その際、引用のもとになった「急性白血病でなくなった一少女の日記」を提示することにより、主張に説得力をもたせるための事例として筆者がどのような事実を資料から取り出しているかを確かめさせ、書きぶりについてその有効性や工夫を考えさせたい。

読みの方法3点目の「事実と意見の書き分け方について考える」は、広める段階の第2時、第3時、第5時を中心に扱う。第2時、第3時の補助学習材の読み取りの際に、自分の主張に対する根拠として資料を用いる場合の書き方について、適切な文末表現や、接続語の使い方について、具体的な型を例示して理解させ、第5時以降、自分で意見文を書く際にも活用できるようにする。

【筆者の主張と関連させて自分の考えをもつ力】

- 他の資料を読んで考える。

読みの方法「他の資料を読んで考える」については、まず、説得力のある意見文を書いて発信するというゴールと意見文の要素を提示した段階で、平和についての課題をもつこと、根拠の資料を探すための並行読書を促す。体験や知識の少ない「平和」について意見文を書くためには、より多くの学習材にふれることが欠かせないと考えるからである。また、広める段階の第1時で、教科書にある資料「平和をつくる教育」「子どもたちの戦争」からの引用文を扱い、課題作りに役立てる。第2時では、「ソマリアの海賊たち」、第3時では、「世界の軍事費」、「軍隊をもっていない国はありますか」を補助学習材として扱い、さまざまなテキストから、自分の主張に説得力をもたせるための根拠となりうる情報を適切に取り出すことができるようにするためのモデル学習を行う。補助学習材の活用により、より明確な主張ができるようになることと、説得力のある根拠を述べるようになることをねらいたい。

イ 言語活動

「自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用して意見文を書く」

様式：意見文

「平和をテーマにした説得力のある意見文を書き、インターネットを通じて世界に発信する」

字数：400字程度

要素：根拠 事例 自分の考え

目的：平和についての意見文を書き、インターネットを通じて発信する。

相手：世界の人

意見文を書く場面では、筆者の伝えたいことを受け、平和に関する資料を読み、戦争や平和について考え、自分の考えを「仮の要旨」としてまとめさせる。そして、自分の考えに説得力をもたせるために、事例や根拠として活用できるような複数の補助学習材を読み取る時間を設ける。最終的にまとめた意見文は、広島平和記念資料館WEBサイト内の平和学習発表コーナーへの投稿を予定している。外部への発信を前提にすることで、意見文を書くことに対する意欲の向上を図りたい。

ウ 見通す場と振り返りの場

単元を見通す段階で、「平和をテーマにした説得力のある意見文を書き、インターネットを通じて世界に発信する」というゴールの姿を示し、説得力のある意見文を書くという目的意識と、平和に関心をもつ全世界の人々に向けて発信するという相手意識を明確にもたせたい。そのことにより、「説得力のある意見文を書くため」に読むという目的に応じた読みの構えをつくることもできると考える。また、どのような意見文を書くか例示することにより、見通しをもたせるとともに、説得力のある意見文を書くための要素を確認する。学習材を読む際の視点を効果的に示すことで、ゴールとなる言語活動を意識しながら主体的に読むことにつながっていくものと考ええる。

学習の振り返りは、まとめる段階で行う。単元全体を通して学習したことを振り返り、感想をまとめる。感想の項目は、より説得力のある意見文を書くために大切なことは何か、自分の意見文を世界中の人に発信したことについてどう感じたか等とする。この活動を通して、自分が学習したことを自覚させ、生きてはたらく力として身に付けさせていきたい。さらに自分が書いた意見文についての添書を書かせ推敲することで、自分の文章の振り返りも行わせる。自己評価を行い、それについての話し合いの場を設けることで相互評価も取り入れる。

3 単元の目標と評価規準

| | 単元の目標 | 評価規準 |
|---------------------|---|---|
| 国語への 関心・意欲・態度 | ○説得力のある意見文を書くという目的に応じて、いろいろな文章を読もうとすることができる。 | ・説得力のある意見文を書くという目的に応じて、いろいろな文章を読もうとしている。 |
| 読む能力 | ◎意見文を書くという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすることができる。 | ・意見文を書くという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりしている。 ＜ウ＞ |
| 書く能力 | ○事実と意見を区別し、目的や意図に応じて書くことができる。 ○引用したり、図表やグラフなどから読み取ったことを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くことができる。 | ・事実と意見を区別し、目的や意図に応じて書いている。 ＜ウ＞ ・引用したり、データなどから読み取ったことを用いたりして、自分の考えが伝わるように書いている。 ＜エ＞ |
| 言語についての 知識・理解・技能 | ○意見文を書くために、語句と語句がどのように関連し合って、文章を構成しているのかを理解することができる。 ○文や文章にはいろいろな構成があること、そして目的に応じて決定されていることについて理解することができる。 | ・文章を特徴付ける語句に着目し、文章の中でどのように関連し合って、文章を構成しているのかを理解している。 ＜イ（オ）＞ ・文や文章にはいろいろな構成があること、そして目的に応じて決定されていることについて理解することができる。 ＜イ（キ）＞ |

4 単元の指導計画と評価規準(全13時間)

| 段階 | 時 | 学習活動 | 国語への 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての 知識・理解・技能 | 補助 学習材 |
|-------------|----------------------------|---|--|---|---|---|
| 見 通 す | 1 | 単元名から単元全体の めあてをつかみ、学習 計画を知る。 さまざまな意見文のモ デルを基に、本単元で 書く意見文の要素につ いて話し合い、要素を とらえる。 | 学習の進め方に興 味をもち、自分の 考えを書く目的と 相手、意見文の要 素を意識して考え ようとしている。 (シート、発言) | | 分からない語句 について、辞書を 利用して調べて いる。 (観察) | |
| 深 め る | 2 | 全文を読み、意見文を 書くための要素に照ら し合わせながら、筆者 の書きぶりについてま とめる。 | 意見文を書くため の要素に照らし合 わせながら、筆者 の書きぶりについ て考えようとして いる。(シート) | 意見文を書くため の要素に照らし合 わせながら、筆者 の書きぶりについ てまとめている。 (シート) | 文章を特徴付け る語句に着目し、 文章の中でどの ように関連し合 って、文章を構成 しているのかを 理解している。 (観察) | |
| | 3 | 全文を要約し、筆者の 主張に対する自分の考 えをもつ。 | | 前単元で学習した 型にあてはめる形 で要約をしてい る。 (シート) | | |
| | 4 | 筆者の主張に説得力を もたせている事例につ いて読み取り、自分の 考えをもつ。 | | 事実や時間の流れ を中心に、正確に 読み取り、筆者の 工夫についてまと めている。 (シート) | | |
| | 5 | まとめの段落の読み取 りから、筆者の伝えたい ことをくわしく読み 取り、それに対して自 分はどう考えるか書き まとめる。 | | まとめの段落の叙 述を正確に読み取 り、筆者の伝えたい ことに対する自 分の考えを書いて いる。(シート) | | |
| 広 め る | 6 | 平和に関する補助学習 材(教科書P93)か ら考えたことを交流 し、平和についての課 題をもち、それに対す る「仮の要旨」をまと める。 | 平和に関する補助 学習材を読み、進 んで課題に対する 自分の考えを書こう としている。 (シート) | 書く能力 平和に関する補助 学習材を読み、そ れに対する自分の 考えを「仮の要旨」 として書いている。 (シート) | 文や文章にはい ろいろな構成が あることについ て理解している。 (観察) | 「平和を つくる教 育」「子 どもたち のための戦 争」 |
| | 7 本 時 | 軍隊に頼る平和につい て必要な情報を補助 学習材から読み取り、意 見を加え、事実をとも なう根拠としてまとめ る。 | | 課題を解決するた めに必要な情報 を読み取り、意見 を加え、事実をとも なう根拠としてま とめている。 (シート) | | 「ソマリ アの海賊 たち」 |

| | | | | | | |
|-----|----|--|---|---|--|--------------------------------|
| | 8 | 軍隊に頼らない平和について必要な情報を補助学習材から読み取り、意見を加え、事実をとまなう根拠としてまとめる。 | | 課題を解決するために必要な情報を読み取り、意見を加え、事実をとまなう根拠としてまとめている。(シート) | | 「世界の軍事費」 「軍隊をもっていない国はありますか」 |
| | 9 | 自らの課題を解決するために必要な補助学習材を読み、根拠としてまとめる。 | | 自らの課題を解決するために必要な情報を読み取り、解釈を加え、根拠としてまとめている。(シート) | | 「平和に関する本」 |
| | 10 | 補助学習材から読み取ったことをもとに要旨をまとめ直し、要旨を展開するための構成を考え、構成メモを書く。 | | 書く能力 補助学習材の読み取りを受け、要旨をまとめ直し、要旨を展開するための構成を考え、構成メモを書いている。(シート) | | |
| | 11 | 構成メモをもとに、意見文を書く。 | | 書く能力 構成メモをもとに、明確な主張と、説得力のある根拠のある、意見文を書いている。(シート) | | |
| | 12 | 書いた意見文の添書を書き、振り返る。 | 添書のポイントを押さえながら、自分の書いた意見文について振り返っている。(シート) | | | |
| まとめ | 13 | 意見文を発信し、説得力のある意見文を書くために学習したことを振り返り、感想をまとめる。 | ・説得力のある意見文を書くために学習したことについて、感想を書いている。(シート) | | | |

5 本時の指導(7/13)

(1) 本時の目標

意見文を書くために必要な事実を資料から適切に読み取り、意見を加え、事実をとまなう根拠としてまとめることができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

| 評価規準 観点 | A 十分満足できる | B おおむね満足できる | C 努力を要する 児童への手だて |
|------------|--|--|--|
| 読む能力 | Bに加えて ・複数の事実を適切に取り出している。 ・自分の意見をより深く書いている。2文以上。 例)なぜなら、軍隊がないと世界のさまざまな問題を解決できないからだ。たとえば、ソマリア沖で北朝鮮の貨物船が海賊に襲撃されたとき、米軍のおかげで救出されたという。もし、軍隊がなければ海賊による被害が増えるに違いない。軍隊をもつことで、世界の平和を守ることができるのである。だから… | 補助学習材から、軍隊をもつことの必要性について、適切な事実をとりあげ、自分の意見を加え、根拠としてまとめている。 例)なぜなら、軍隊がないと世界のさまざまな問題を解決できないからだ。たとえば、ソマリア沖で北朝鮮の貨物船が海賊に襲撃されたとき、米軍のおかげで救出されたという。また、もし、軍隊がなければ海賊による被害が増えるに違いない。だから… | 友達の話や板書を参考にしながら、説得力のある意見文を書くために必要な要素について考えさせる。 |

(3) 展開

| 段階 | 学習活動 ○発問・期待する児童の反応 | 教師の支援 学習内容 ◎評価・留意事項 |
|-------------|--|---|
| 見 通 す | 1 単元のねらいを確認するとともに、前時の学習を想起する。 * 仮の課題 「平和を守るために軍隊は必要かどうか」 * 仮の要旨 「平和を守るために軍隊は必要である」 ○仮の要旨に対する仮説や根拠を書いてみましょう。 ・なぜなら、他の国にもし攻撃されたとき、自衛隊やアメリカ軍がいないと、日本は他の国に占領されてしまう。だから、自衛隊が日本の平和を守ってくれているのではないか。 ○説得力のある仮説や根拠になっていますか。 ・具体的な根拠がない。 ・予想で書いているので説得力がない。 2 学習課題を確認する。 資料から意見文に説得力をもたせるための事実をさがし、意見をつけてまとめよう。 | ・前時は、平和について書かれた補助学習材を読み、意見文を書くための課題を設定したこと、課題に対する仮の要旨をまとめたことをふりかえる。 ・前時の終末で示した、本時のモデル学習で取り組む仮の課題と要旨について確認する。 ・資料活用のよさをより納得させるために、あえて、資料なしで書かせてみる。 |
| 7 分 | 3 読みの視点を確認する。 ・説得力をもたせるための根拠 →事実と意見 | ・説得力のある意見文を書くための要素と、意見文を書く際のプロットから本時の位置づけを明確にする。 ・本時のまとめとなる段落の型を示し、解決の見通しをもたせる。 |

| | | |
|---|---|---|
| <p>深 め る 30 分</p> | <p>4 課題に対する自分の考えをもつ。 (1) 本時の仮の要旨を確認し、仮説をたてる。 ○仮の要旨に対する根拠として、どのようなことが考えられますか。 ・軍隊がないとよその国に攻められたときに守ることができない。 ・軍隊がないといろいろな問題が起きたとき、解決できない。 ○根拠に説得力をもたせるために、どのような事実を述べるとよいでしょう。 ・軍隊があることのよさ ・軍隊があることで平和を守っている具体例 ・軍隊がなくて困ったという具体例 (2) 資料「ソマリアの海賊たち」を読み、軍隊が必要であることの根拠となりうる事実をとりだし、意見をもつ。 ○資料を読み、軍隊が必要であることの理由になりそうな事実をさがし、線を引きましょう。 ・「海賊情報センター」では、海賊に襲撃された船からのSOSを受け取ると最寄りの海軍に救助を依頼する。 ・米軍が北朝鮮の貨物船を救出するという不思議な事態になった。 ・米海軍の駆逐艦「アーレイバーク」が海賊を撃退しています。 ・1992年には米軍を主体とする国連の平和執行部隊が介入。治安を回復させて食料の援助をしました。 ○これらの事実について、もし軍隊がなければどうなると思いますか。 ・海賊が出ても誰にも救助を依頼できない。 ・海賊がふえるに違いない。 ・船がソマリア沖を通れなくなる。 ・海の安全が守れないと思う。 ○出された事実と意見をもとに、仮の要旨に対する根拠をまとめましょう。 ・ペアで意見を交流する。</p> | <p>・課題に対する仮説を立てさせる。 ・仮説に基づき、どのような資料を探せばよいか見通しをもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">説得力をもたせるために、読み取った事実に自分の意見を加え、根拠としてまとめること。</div> ・線を引いた事実の要点を板書する。 ・取り出した事実に対する意見をもたせる。 ・資料から読み取った事実に自分の意見を加え、根拠としてまとめさせる。 ・事実に意見をつけて述べる際の書き方について確認する。</p> |
| <p>ま と め る 8 分</p> | <p>5 自分の考えをまとめる。 「仮の要旨」に対する根拠の段落を書きまとめる。 6 学習について振り返る。 ○今日の学習の感想をまとめましょう。 7 次時の予告</p> | <p>◎軍隊に頼る平和について資料から適切に読み取り、意見を加え、事実をとまなう根拠としてまとめることができる。(シート) ・課題とまとめの確認をする。本時の学習と単元のめあてのつながりを確認する。 ・次時は、軍隊に頼らない平和という視点から根拠を述べることを伝える。</p> |

(4) 板書計画

| | |
|--|---|
| 課題 | 平和を守るために軍隊は必要かどうか |
| 仮の要旨 | 平和を守るために軍隊は必要である。 |
| 課題 | 資料から意見文に説得力をもたせるための事実をさがし、意見をつけてまとめよう。 |
| 読みの視点 | 説得力をもたせる根拠 |
| ← | |
| 事実と意見 | |
| 仮説 | ・ 軍隊がないとよその国に攻められたとき守れない ・ 軍隊がないといろいろな問題を解決できない |
| 資料 「ソマリアの海賊たち」 | |
| 根拠 | |
| 《事実》 | ・ 「海賊情報センター」では、海賊に襲撃された船からSOSを受けると最寄りの海軍に救助を依頼する。 ・ 北朝鮮の貨物船が襲撃され米軍によって救出された。 |
| 《意見》 | ・ 軍隊がないと海賊による被害が増えるに違いない。 ・ 軍隊がないと海の安全が守れない。 |
| まとめ | |
| 私は平和を守るために軍隊は必要だと考える。 なぜなら、 たとえば、 だから、平和を守るために軍隊は必要であると考える。 | |

本単元の学習指導一覧表

単元名

筆者の考えを受け止め、自分の考えを明確に伝えよう

中心学習材

平和のとりでを築



目標: 意見文を書くという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしなが
読んだりすることができる。〈読むこと ウ〉

| 段階 | 主な学習活動 | 主な評価 | ○読みの方法 ・補助学習材 |
|--|---|---|---|
| 見通す 単元全体のめあてをつかみ、学習計画を知る。 | ①単元名から単元全体のめあてをつかみ、学習計画を知る。さまざまな意見文のモデルを基に、本単元で書く意見文の要素について話し合い、要素をとらえる。 | ①学習の進め方に興味をもち、自分の考えを書く目的と相手、意見文の要素を意識して考えようとしている。(関: シート、発言) | ○説得力 ○要旨 ○具体例 ○引用 |
| 深める 意見文を書くための要素に照らし合わせながら、筆者の書きぶりについて読み取る。 | ②全文を読み、意見文を書くための要素に照らし合わせながら、筆者の書きぶりについてまとめる。 ③全文を要約し、筆者の主張に対する自分の考えをもつ。 ④筆者の主張に説得力をもたせている事例について読み取り、自分の考えをもつ。 ⑤まとめの段落の読み取りから、筆者の伝えたいことをくわしく読み取り、それに対して自分はどうか考えるか書きまとめる。 | ②意見文を書くための要素に照らし合わせながら、筆者の書きぶりについてまとめている。(読: シート) ③前単元で学習した型にあてはめる形で要約をしている。(読: シート) ④事実や時間の流れを中心に、正確に読み取り、筆者の工夫についてまとめている。(読: シート) ⑤まとめの段落の叙述を正確に読み取り、筆者の伝えたいことに対する自分の考えを書いている。(読: シート) | ○始め、中、終わり ○キーワード ○文末表現 ○筆者の主張 ○具体例 ○要約の型 ○説得力 |
| 広める 平和に関する補助学習材を読み、学んだことを生かし、意見文を書く。 | ⑥平和に関する補助学習材(教科書P93)から考えたことを交流し、平和についての課題をもち、それに対する「仮の要旨」をまとめる。 ⑦(本時)軍隊に頼る平和について必要な情報を補助学習材から読み取り、意見を加え、事実をとまなう根拠としてまとめる。 ⑧軍隊に頼らない平和について必要な情報を補助学習材から読み取り、意見を加え、事実をとまなう根拠としてまとめる。 ⑨自らの課題を解決するために必要な補助学習材を読み、根拠としてまとめる。 ⑩補助学習材から読み取ったことをもとに要旨をまとめ直し、要旨を展開するための構成を考え、構成メモを書く。 ⑪構成メモをもとに、意見文を書く。 ⑫書いた意見文の添書を書き、振り返る。 | ⑥平和に関する補助学習材を読み、それに対する自分の考えを「仮の要旨」として書いている。(書: シート) ⑦課題を解決するために必要な情報を読み取り、意見を加え、事実をとまなう根拠としてまとめている。(読: シート) ⑧課題を解決するために必要な情報を読み取り、意見を加え、事実をとまなう根拠としてまとめている。(読: シート) ⑨自らの課題を解決するために必要な情報を読み取り、解釈を加え、根拠としてまとめている。(読: シート) ⑩補助学習材の読み取りを受け、要旨をまとめ直し、要旨を展開するための構成を考え、構成メモを書いている。(書: シート) ⑪構成メモをもとに、明確な主張と、説得力のある根拠のある、意見文を書いている。(書: シート) ⑫添書のポイントを押さえながら、自分の書いた意見文について振り返っている。(読: シート) | ○モデル学習 ○文末表現 ○接続語 ○並行読書 ・「平和をつくる教育」 ・「子どもたちのための戦争」 ・「ソマリアの海賊たち」 ・「世界の軍事費」 ・「軍隊をもっていない国はありますか」 ・「新聞記事」等 |
| まとめる 学習の振り返りをする。 | ⑬意見文を発信し、説得力のある意見文を書くために学習したことを振り返り、感想をまとめる。 | ⑬説得力のある意見文を書くために学習したことについて、感想を書いている。(書: シート) | |

ゴールに据える言語活動

【言語活動】自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用して意見文を書くこと 【様式】 意見文
【言語能力】平和をテーマにした説得力のある意見文を書き、インターネットを通じて世界に発信する。
【要素】根拠 事例 自分の考え